

山崎豊子の名作は堺で執筆されました

企画展「堺に生きた山崎豊子のまなざし－愛用品の数々－」を開催します

さかい利晶の杜において、企画展「堺に生きた山崎豊子のまなざし－愛用品の数々－」を開催します。

1 企画展名

堺に生きた山崎豊子のまなざし－愛用品の数々－

2 主旨

山崎豊子は、大正 13（1924）年に大阪船場、昆布商の老舗「小倉屋山本」に長女として生まれました。旧制大阪市芦池尋常小学校（現：大阪市立南小学校）を卒業後、旧制相愛高等女学校（現：相愛中学校・高等学校）に進学し、旧制京都女子専門学校（現：京都女子大学）国文科を卒業しました。卒業後、毎日新聞社に入社、のちに作家となる井上靖のもとで働きました。記者生活のかたわら小説を書き始め、昭和 32（1957）年、生家をモデルとした『暖簾』で作家デビューを果たし、『白い巨塔』『華麗なる一族』『沈まぬ太陽』など多くの作品を世に送り出しました。

堺の浜寺には、作家として独立した頃から、平成 25（2013）年に亡くなるまで住み続けました。

本展では、山崎豊子の作品が生み出された書斎の一部を展示室に再現し、その周囲に書架や庭などを写真パネルで紹介することで、山崎豊子のまなざしを追体験するような構成とします。さらに、応接室で使用されていた愛用品の数々（約 100 点）を展示し、堺に生きた作家山崎豊子の素顔と、作品を生みだした世界観の一端を感じていただければと思います。

また、3 月 8 日にテレビ放送を予定している「ドラマプレミアム 山崎豊子生誕 100 年記念 花のれん」に関連し、原作執筆時の創作ノートを併せて展示します。

3 日時

令和 7 年 4 月 19 日（土）～令和 7 年 5 月 29 日（木）

開館時間：午前 9 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）

休 館 日：令和 7 年 5 月 20 日（火）

4 場所

さかい利晶の杜 企画展示室（堺市堺区宿院町西 2 丁 1-1）

5 観覧料

一般 300 円（240 円）、高校生 200 円（160 円）

※常設展示室（千利休茶の湯館、与謝野晶子記念館）と共通料金

※（ ）内は 10 名以上の割引料金

※中学生以下と堺市内在住の 65 歳以上の方は無料

※障害のある方とその介助者は無料（要証明書）

6 企画展のみどころ

① 山崎豊子の癒しの地、堺	写真や創作ノートから、山崎豊子の生涯を紹介します。
② 山崎豊子、執筆の現場	山崎豊子の書斎を中心に、執筆風景を紹介します。
③ 山崎豊子のおもてなし	出版社やテレビ会社など、多くの人と打ち合わせをした応接室に飾られていた愛用品の数々を展示します。

7 主な展示資料（すべて初公開）

① グリフンの壺（一般社団法人 山崎豊子著作権管理法人蔵）

執筆していた机の正面に置かれていた壺。堂々としたグリフオンが描かれており、筆が止まった時はこの壺を眺めて構想を練っていたと考えられる。



② リヤドロ製の人形（一般社団法人 山崎豊子著作権管理法人蔵）

スペインの高級磁器ブランドであるリヤドロ（LLYADRO）社製の人形。山崎豊子は生涯で 5 匹の犬を飼育していた。この人形も犬を連れており、犬好きな一面が窺える。



③ ティーカップ（一般社団法人 山崎豊子著作権管理法人蔵）

イギリス製の華やかなティーカップ。社会派といわれる重厚な作品からは想像しにくい、山崎豊子は美しく華やかなものが好きだった。



8 主催・協力

主催 堺市

協力 一般社団法人 山崎豊子著作権管理法人、相愛大学、株式会社新潮社、株式会社文藝春秋

9 関連イベント

① 講演会（講演会後、学芸員による展示解説あり）

演 題：「山崎豊子の文学的出発 –新資料から見えてくること–」

講 師：荒井 真理亜 氏（相愛大学人文学部 教授）

日 時：令和7年5月18日（日） 午後1時30分～午後3時

場 所：さかい利晶の杜 2階講座室（堺市堺区宿院町西2丁1-1）

定 員：先着50名

受 付：令和7年4月5日（土）午前9時から（定員に達し次第、受付終了）

受付方法：予約サイト（<https://reserva.be/sakairishonomori>）

もしくは、さかい利晶の杜（072-260-4386）へ電話で申込み

参 加 費：無料（講演会終了後の展示解説は当日の展示観覧券が必要）

② 学芸員による展示解説（2回）

日 時：令和7年4月29日（祝・火）、令和7年5月10日（土）

各日午後1時30分～午後1時50分

場 所：さかい利晶の杜 企画展示室（堺市堺区宿院町西2丁1-1）

申込方法：申込不要、直接会場へお越しください。

参 加 費：無料（当日の展示観覧券が必要）

③ 山崎豊子の関連書籍紹介

山崎豊子の代表作の一つ『沈まぬ太陽』、遺作となった『約束の海』ほか、長年の秘書であった野上孝子による『山崎豊子先生の素顔』などの本の紹介を、図書情報コーナー（無料ゾーン）にて行います。

問 い 合 わ せ 先	（本市の文化施策に関すること） 担 当 課：文化観光局 文化国際部 文化課 電 話：072-228-7143 ファックス：072-228-8174
	（企画展に関すること） 担 当 課：文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課 電 話：072-260-4862（さかい利晶の杜） ファックス：072-238-0150

企画展

堺に生きた

The Literary Perspective of Toyoko YAMASAKI:
Her Life and Work in Sakai

山崎豊子のまなざし

— 愛用品の数々 —



令和7年

4/19(土) → 5/29(木)

時 間 | 9:00～18:00 (最終入館17:30)

休館日 | 第3火曜日 (5月20日)

会 場 | さかい利晶の杜 企画展示室

観覧料 | 一般300円、高校生200円、中学生以下無料

※「千利休茶の湯館」「与謝野晶子記念館」の観覧券でご覧いただけます。

※障害のある方と介助者、堺市内在住の65歳以上の方は無料

主催：堺市

協力：一般社団法人 山崎豊子著作権管理法人、相愛大学、株式会社 新潮社、株式会社 文藝春秋



さかい利晶の杜
Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

10th
さかい利晶の杜
Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

堺に生きた

The Literary Perspective of Toyoko YAMASAKI:
Her Life and Work in Sakai

山崎豊子のまなざし

—愛用品の数々—

山崎 豊子は、大正13(1924)年大阪船場の昆布商の老舗に生まれました。旧制大阪市芦池尋常小学校(現・大阪市立南小学校)を卒業後、旧制相愛高等女学校(現・相愛中学校・高等学校)に進学し、旧制京都女子専門学校(現・京都女子大学)国文科を卒業しました。卒業後、毎日新聞社に入社、のちに作家となる井上靖のもとで働きました。記者生活のかたわら小説を書き始め、昭和32(1957)年、生家をモデルとした『暖簾』で作家デビューを果たし、『白い巨塔』『華麗なる一族』『沈まぬ太陽』など多くの作品を世に送り出しました。

堺の浜寺には、作家として独立したころから、平成25(2013)年に亡くなるまで住んでいましたが、そのことはあまり知られていません。本展では、山崎豊子の作品が生み出された書斎の一部を展示室に再現し、本棚や庭などを写真パネルで紹介することで、山崎豊子のまなざしを追体験するような構成とします。さらに、応接室で使用されていた愛用品の数々を展示することで、堺に住んだ作家山崎豊子の素顔と、作品を生みだした世界観の一端を感じていただければと思います。

堺の浜寺には、作家として独立したころから、平成25(2013)年に亡くなるまで住んでいましたが、そのことはあまり知られていません。本展では、山崎豊子の作品が生み出された書斎の一部を展示室に再現し、本棚や庭などを写真パネルで紹介することで、山崎豊子のまなざしを追体験するような構成とします。さらに、応接室で使用されていた愛用品の数々を展示することで、堺に住んだ作家山崎豊子の素顔と、作品を生みだした世界観の一端を感じていただければと思います。

〈書斎の本棚(一部)〉

contents

I 山崎豊子の癒しの地、堺

山崎豊子は大阪船場に生まれ育ちましたが、小学校時代から夏休みは堺の別邸で読書をして過ごしていたといえます。『花のれん』の創作ノートや写真を中心に、山崎豊子の生涯を紹介します。

II 山崎豊子、執筆の現場

書斎の一部を展示室に再現し、山崎豊子の執筆風景および執筆していたときに見ていた光景を感じていただきます。

III 山崎豊子のおもてなし

出版社やテレビ会社など、多くの人と打ち合わせをした応接室に飾られていた愛用品の数々から、山崎豊子のまなざしを追います。



〈リヤドロ製の人形〉



〈グリフンの壺〉

初出品
多数!

〈ティーカップ〉



event 関連事業



講演会

「山崎豊子の文学的出発 —新資料から見えてくること—」

日時 5月18日(日) 13:30~15:00

講師 荒井 真理亜氏(相愛大学人文学部教授)

会場 講座室 定員 50名、先着順 参加費 無料

申込み 4月5日(土) 9:00 申込開始

お電話または予約サイトにてお申込みください。

TEL: 072-260-4386 予約サイトはこちらから▶

※講演会終了後、学芸員による展示解説を行います。

参加を希望される場合は、展示観覧券をお求めください。



学芸員による展示解説

日時 4月29日(祝・火)、5月10日(土) 各日13:30~(20分程度)

会場 企画展示室 参加費 無料(当日の展示観覧券が必要です)

申込み 不要、直接会場へお越しください。



図書情報コーナー

山崎豊子の代表作のうち、『沈まぬ太陽』、『約束の海』のほか、長年の秘書だった野上孝子による『山崎豊子先生の素顔』などを、図書情報コーナーにて紹介します。

アクセス



交通案内

「阪堺線 宿院駅」より徒歩1分 「南海線 堺駅」より徒歩約10分

「南海高野線 堺東駅」よりバス約6分 最寄りバス停「宿院」下車 徒歩1分

